

コロナ禍に振り回され“自粛”と“マスク”の2度目の夏を迎えようとしています。皆様にはお変わりありませんでしょうか。

さて、きずなネットワーク運営協議会は、皆様のご意見を参考に 今般「東小学校区緊急時お役立ち情報マップ」の作成配布に至りました。

【東小学校区きずなネットワーク運営協議会】

東2丁目、稲荷前地区の住民がつくば市社会福祉協議会の全面的なご指導・ご助力を得て自主的に作った組織です。発端は補助を必要とする人（高齢者・障がい者）への見守りのネットワーク拡充でしたが、地域の事を知る必要を感じ 補助の必要な人のみならず多くの住民との交流を心掛けています。自主組織ながら地域の活性化を主眼として各自治会からの賛助を頂き運営しています。

きずなネットワーク運営協議会は、「生活弱者とされる方にとっての住みやすさは、すべての方にとっての住みやすさに繋がる」と考えます。とりわけ、災害などの緊急事態発生時に、そうした方がきわめて厳しい状況に晒されたことは、阪神・淡路や東北の事例が教えてくれました。

感染症の脅威に直面しているいま、私たちの生活環境を見直す起点にしませんか？

「共助」のある町に

最近、「自助」「共助」「公助」という言葉を耳にする機会が増えました。「自助」とは個人や家庭単位で災害に備えることです。この地域の「自助」へのヒントは、「緊急時お役立ち情報マップ」裏面の“知恵袋”をご覧ください。「公助」とは、行政や専門家が行なう救助活動です。それに対して「共助」は、『義務や強制を伴わないご近所の互助』といったたぐいの漠然としたものではないでしょうか。当協議会では「共助」の具体化をめざしています。

「緊急時お役立ち情報マップ」では対象事例を、“AED”“井戸”“消火栓”に絞り、分布が分かるように記載しました。ここから新たな問題意識を持っていただければ、と思います。

「AED 調査」について

“災害”と“AED”（自動体外式除細動器）とは、直接結びつくものではありませんが、AEDを操作できるのは当事者ではありません。心停止の症状は、場所や時間を選びません。医療逼迫時には、救急隊の到着も遅れます。生死を分けるリミットとされる8分以内に対応できるのは、異変に気づいた“あなた”です。あらかじめAED設置場所や使い方を知っておくことが、心停止者の回復の確率を高めます。

「井戸調査」について

県の推定では、つくば市内の電力と下水道が1週間以内に復旧するのに対して、上水道は1週間後でも23%の断水地域が残るとされています。飲料水は各家庭での備蓄が大切です。

トイレや洗濯などに必要な雑用水は、使用量が多く備蓄には限界があります。そこで、井戸をお持ちの方々のご協力によって水の供給ができないかと考え、今回の調査を行いました。

井戸使用への協力をご承諾いただいたのは、「共助」の範囲のことです。きずなネットワーク運営協議会と各区会では、井戸所有者の負担ができるだけ少なくなるような方法を考えています。

「消火栓調査」について

消火栓は、放水量や水圧を保つため、地区全体に均一に配置されています。火災が起きたとき、最も近い消火栓が必要になります。そのために、消火栓周囲への駐車などを避けるのも広い意味の「共助」です。

【井戸調査についてのお礼】

井戸所有者のご家庭には突然の訪問にもかかわらず丁寧に対応していただき、感謝申し上げます。



【「助けて！ カード」希望者に作成・提供します】

昨年度、下図のような“緊急時対応”の「個人情報カード」を名刺サイズにて 一部の希望高齢者に作成してお渡ししました。 外出時に健康保険証と共に財布や携帯電話に挟んで持ち歩くことによって 安心の一助 となります。

- ・白紙カードのみをお求めの方は、きずなのメンバーに言っていただければお渡しいたします。
- ・当協議会で 必要事項を入力し作成する場合は、ラミネート加工してお渡しいたします。

 助けて！ あなたの支援が必要です。	氏 名 生年月日 性 別 自宅住所 (電話番号) 緊急連絡先 命に係わる 持病 かかりつけ病院 年 齢 血液型 型 電話番号 携帯電話番号 病院名 電話番号
--	---

＜ 表面 ＞ 「助けて！ カード」 ＜ 裏面 ＞
(名刺サイズです)

東小学校区きずなネットワーク運営協議会

定例会議：毎月第3火曜日 10時から 東児童館に

て<#> お問い合わせ：笹澤 浩子

ホームページ：<http://tatenasi.shin-gen.jp/>

